

# 議会だより

## 一般質問

9月12日に開会された第3回定例会では、3名の議員から3件の一般質問がありました。



北島議員

### 町内における「インフラ整備」の優先順位について

**北島議員**  
近年、老人住宅や町営住宅、温泉の改修工事、商業活性化施設の建設など、多額の予算を投じた事業が多くなっている。

31年度には保育所の新設工事も控える中、観光の中心である観光センターの合併浄化槽のオーバーフローによる悪臭の問題や融雪・豪雨による河川等の護岸の崩壊や農地への水の流入などが当たり前のように起こっているが、町の対応は応急処置程度が殆どで根本の解決に至っていない。

このような状況の中、新設の保育所に隣接した公園の整備なども企画しているようだが

必要性に疑問を感じる。31年度から10か年の「北竜町総合計画」を策定中であると思うがしっかりとした予算をかけた既存の環境整備を進めるべきと考えるが、見解をお聞かせ願いたい。

#### 佐野町長

町づくりの基本であるインフラ整備は、現状での課題解決や町民からの要望を踏まえ、計画的かつ効率的に事業を実施している。観光センターの合併浄化槽については汚泥汲み取りの回数を増やす事に対応したが、次年度以降については調査結果を踏まえ前向きに対応したい。また、18ある町河川については、全て

を調査・改修するには多額の経費と日数を要するため、継続的に実施している護岸整備や河床掘削、立木伐採などを行っていききたい。

公園整備については、他町ではどこにでもある町民のやすらぎと憩いの場として必要であるとともに、町外からの移住定住者や交流人口の増加を図るため計画している。

現在策定中の新たな総合計画は新規事業に加え、各公共施設の改修、更新、各種施策を検討し、緊急性を配慮しつつ、中期財政計画や公共施設等総合管理計画に基づき計画的かつ効率的な実施に努めるとともに、国・道等の補助金活用も見据え実施年度を検討していききたい。

#### 北島議員

すべての町河川や町道、水道の改修・整備には多額の費用を要する事、国や道の補助事業も年々要件が厳しくなり採択されない場合が多い事も承知しているが、災害等で補助が出たからといってその箇所だけを復旧しても隣接する部分が再度崩壊するといった

危険もある。

例えば、今回の豪雨で崩落した尻無川の護岸ブロックは、以前から老朽化のため対岸が融雪により2度崩落しており、復旧工事はなされたが、当時から未施工箇所は不安視していた。町道も隣接しており、もし崩落規模が大きければ地域住民の生活に多大な影響を及ぼしかねない。町も、ある程度、事前対処が必要な箇所は把握していると思うので、そのような場所にウエイトを置いた予算配分は出来ないのか。

#### 佐野町長

今後も、ゲリラ豪雨など想定外の大雨に対処する為、建設課を中心に町河川の洗い出しをしていきたい。全ての調査・改修は出来ないが都度、補修・応急処置をしながら現場の状況を把握しており、議員の言われるとおりになることは難しいと思うが、総合計画にないものも緊急性に応じて実施していく。

#### 北島議員

災害になる可能性のある場所を事前に改修する事が町民

の生活を守る上での「緊急性」であって公園の整備等に予算をさく事ではないと思う。毎年、1か所でも2か所でも、しっかりと予算を組んで対処すべきだと思う。

#### 佐野町長

しっかりと調査した上で緊急性に応じて総合計画にも反映し、改修計画も立てていきたい。

#### 大矢建設課長

河川計画を作成するには18河川の調査だけで5年から10年かかる。調査実施計画は記載できるかもしれないが総合計画の10年間で河川ごとの優先順位をつけた施工計画を記載する事は困難。

#### 北島議員

助成や補助事業在りきではなく、町費持ち出しであつても、住民や町が把握している要注意河川等があると思うので、そのような箇所を積み上げて事前対処に心がけて頂きたい。



山本議員

### 排水機場の現状について

#### 山本議員

今年7月3日大雨が降り、町内それぞれの排水機場に於いてのトラブルについて伺う。  
○碧水排水機場に於いてはエンジンの不調により排水中に2度にわたり排水が出来なくなった。  
○和排水機場に於いては岩見沢の機械メーカーが来て排水作業をした。  
○培本社排水機場に於いては4時間程エンジンがかからず排水作業が遅れた。

いずれも大きな被害の発生が無かつたようだが、点検整備が不十分と思われるが、今後の対応について伺う。

#### 佐野町長

本年7月の局地的な豪雨による内水位の上昇により、町内3ヶ所の排水機場が排水作業を行ったところである。各排水機場は、例年春先に保守

点検業者に業務委託を行いポンプ及び各種操作設備等の保守、始動点検を行っているところである。

しかしながら各排水機場は建設から和で30年、培本社で28年、碧水で25年経過しておりこの間、各種機器類及び施設の補修等を行ってきたが経年劣化は否めない状況である。今後施設並びに各設備の補修、更新計画を進めて行く。また、運転操作訓練等も定期的に実施し、計画的な維持管理に努める。



松永議員

### 北竜町地域公共交通について

#### 松永議員

乗合タクシーの登録について、気づいた点を申し上げたい。まず、運行時間について不備・不公平を感じた。地域によって運行がされない時間帯があり、乗車できない人が居る。人口1,880人、65歳以上が825人、率で43.9%、75歳以上が498人、率で26.5%と多くの高齢者がいる中、年齢によっては運転免許証を自主返納している人もおり、通院・買い物など移動の足がより必要になると考える。

地域公共交通は平成27年度より施行しているが、地域公共交通会議のメンバーは何人で協議を行っているのか。また、運転免許証の自主返納については現在どこまで、進んでいるのか。

他の自治体においては運行

内容を改善しているところもあり、今後、北竜町地域公共交通についての内容の改善は考えているのか、理事者の考えを伺う。

#### 佐野町長

乗合タクシーは和ハイヤーに委託で、美葉牛碧水方面5便、竜西和方面6便の運行を行っている。質問のあった運行がされていない時間帯とは美葉牛碧水方面の8時40分役場着の便のことと思われるが、この時間帯には住民混乗スクールバスが2便運行しており、乗合タクシーの代用と考えている。

しかし、指摘のとおり高齢化率の上昇や運転免許証の自主返納者の増加が見込まれる中、利用者の利便性の向上のため、また、利用者からはアンケートで意見聴取を行っており、その内容を踏まえて、



運行の見直しも有り得ると考えている。

なお、地域公共交通会議のメンバーについては、委員18名・事務局3名で構成されている。

#### 有馬住民課長

北竜町高齢者運転免許証自主返納サポート事業については、平成27年度は15名、28年度は8名、29年度は12名、30年度は現在のところ7名の方がそれぞれ返納されている。トータルでは42名になり、それぞれ、その方達には3年間利用できる5万円分のタクシーチケットを贈呈している。実績については27年度が26.2万円、28年度は19.3万円、29年度は39.8万円の利用状況になっている。

#### 松永議員

スクールバスは家の前まで来ない。乗合タクシーは家の前まで来るが、これは不公平ではないか。人数が少なくとも乗り合いタクシーの委託業者の能力があるから、対応できるのではないか。少しでも公平となるように考慮して頂きたい。また、アンケートの

結果について、教えて頂きたい。

さらに、地域公共交通会議のメンバーについて会長は副町長だが、国土交通省や空知振興局、バス関連の委員などいるが、簡単に集まらないのではないかと返納について一定の効果はあると考えているが、高齢者にもっと配慮が必要と考えるが、理事者の考えを伺う。

#### 佐野町長

運転免許証の自主返納については大きな効果があり、死亡事故死ゼロにつながっている。また、全国でこの事業は北竜町が最初に行っており、町としての体制は評価されるものと考えている。

#### 南波企画振興課長

各時間帯の中で、対応していません事については理解願いたい。ただ、スクールバスは自宅には来ない、不公平については理解できる。不便という声について、会議で話された結果をもって、その都度、改善をしていきたいと考えているが、会議の年度は10月から9月となっており、10月改

正となっている。6月の会議でスクールバスの時刻について協議しており、中身については毎年変更・改善している。また、アンケートについては利用者より委託業者に提出され、会議に反映している。

なお、この会議については国の補助金をいただいて運営している。また、会議開催については陸運支局等と打合せをし、副町長が会長となつて会議運営を行っており、協議会名で案内をし、出席していただいている。



## 議卓 コラム

今年には災害が多い。9月5日にやって来た大型台風21号、6日の北海道胆振東部で発生した地震など、考えさせられたことが沢山ある。小さい時から、停電は何度も経験してきた。それでも、先日のように長い時間の停電は無かつたように感じる。ただ、昔は水道が井戸水で、炊飯器がガス釜、トイレは汲み取り式、ストーブは薪・石炭ストーブだったので、そう感じているのかもしれない。

今回の停電期間は町内でおおよそ、和地区で半日、碧水地区で1日だったが、非常に長く感じた。グループホームを経営していることもあり、照明、IHコンロ、今回、暖房は考えませんでした。電気に依存する生活に慣れ過ぎていると感じた。電気ブレーカーをOFFにして、発電機により、施設内に通電し、ほつとした。TVの地デジチャンネル放送は入らず、BSチャンネルの放送は入った。ヤンネルの放送は入った、そこには情報があり安心した。短い時間の出来事だが、食料、日用品が消えた、燃料が少ししか手に入らない。また、車を運転して感じたことは道路が寸断されていたら、どうなっていたのだろうか。病院へはどう対応できるのか。短期間ではあるが、色々考えさせられた。

文明社会の中で生活している。考えがまだまだ甘く、電気がついた時、これで大丈夫と思った。この後数日間、物資の流通が悪くなる。物が製造されていないし、倉庫からものが出てこない。道内全て被災を受けたのだから、当たり前。自分の周りしか見えていないことに情けなく感じた。被災した時の生活、避難場所での生活を今一度考える。被災の少ない地域にいるが、もつと、しっかりと災害について皆さんと一緒に考えていきたいと思う。

(藤井雅仁)

## 議員の賛否の公表 (北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています。)

### 平成30年第3回定例会 (会期：9月12日～14日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

▽議 案 件 名	北島	藤井	小松	佐光	小坂	松永	山本	佐々木
専決処分の承認を求めることについて 〔平成30年度北竜町一般会計補正予算(第2号)について〕	○	○	○	○	○	○	○	-
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-
公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	-
固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	-
財産の無償譲渡について(旧アパレル縫製工場)	○	○	○	○	○	○	○	-
財産の無償譲渡について(旧鉄道官舎)	○	○	○	○	○	○	○	-
公益法人等への職員の派遣等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-
乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
北空知葬斎組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	-
北空知葬斎組合の解散について	○	○	○	○	○	○	○	-
北空知葬斎組合の解散に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	-
北空知衛生センター組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町一般会計補正予算(第3号)について(原案)	×	×	○	○	×	×	×	-
※平成30年度北竜町一般会計補正予算(第3号)については 修正動議が提出されました(後記)								
平成30年度北竜町一般会計補正予算(第3号)について(修正案)	○	○	×	×	○	○	○	-
平成30年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町農業集落排水事業 及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議における質疑の件数	質疑 0件	質疑 1件	質疑 1件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 1件	質疑 1件	-

### 決算審査特別委員会 (9月13日～14日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し

▽委 員 会 付 託 案 件	北島	藤井	小松	佐光	小坂	松永	山本	佐々木
平成29年度北竜町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	△
平成29年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成29年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成29年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成29年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成29年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成29年度北竜町農業集落排水事業 及び個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成29年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
決算委員会における質疑の件数	質疑 2件	質疑 1件	質疑 2件	質疑 0件	-	質疑 4件	-	質疑 2件

### 町内会長との意見交換会(6月29日)で出された意見を質疑をいたしました。

質疑項目	質疑内容	答弁内容
町内会合併について	碧水地区4町内で合併の協議がなされているが、町として進捗状況を把握しているのか？	32年1月を合併目標として聞いているが、各種要望は寄せられている。具体的な合併日程が決まれば対処して行きたい。
ひまわり油再生プロジェクトについて	地方創生交付金が無くなり、今後のひまわり油の方向性は？	油については好調な売上実績となっている。化粧品など他の方面での活用も検討している。推進室を新設し取り組んでいる。
老人憩いの家の今後について	老朽化による改修などの考えは有るのか？	現施設での活用をする。葬儀場としての活用が主である。今後については総合計画などで示して行きたい。
商業活性化施設について	駐車場の冬期除排雪・出入り口について懸念されているが対処しているのか？	まだ1年を経過していないので、今後の状況を見て判断したい。

